

# 設 立 趣 旨 書

## 1 趣 旨

日本はこれまでも多くの巨大地震に見舞われ、市民の生命と財産が危機にさらされてきた。これら地震災害から市民を守るため、国家も地方行政も多大な努力を払っている。この地震災害から市民を守る最も有効な方法の一つは、地震予知が実現することであろう。しかし、市民を完全に安心させる地震予知の実現はまだ難しいのが現状である。

本研究会の代表者は 1997 年当時より岡山理科大学内に地震危険予知プロジェクト研究会を正式に発足させ、「環境大気イオン濃度変化による地震危険予知の試行実験」を開始し、既に 6 年が経過し、いくつかの研究成果をあげ、学会・研究会等で精力的に発表してきた。

これらの研究成果はインターネットを利用して一般市民にも情報提供が行われている。このホームページ(e-pisco)では大気イオン濃度や宏観異常現象(地震前に起こる精密機器によらないでも感知できるような前兆現象)や全国の地震活動図などの地震に関する幅広い情報提供を行っている。その際、宏観異常現象については一般市民からの情報提供をもとに運営がなされている。

我々が行ってきた大気イオン濃度の収集は、これまで岡山単一での試行がなされてきた。しかしこれはサイトで運営を行っている地震前兆現象や地震活動現象のように、全国を網羅しているわけではない。そこでインターネットを利用したオンライン収集が可能となってきた。今、活動を全国規模に拡大する必要がある。これにより岡山以外の地域における大気イオン濃度の情報収集が実現できれば、市民にとってより満足出来る情報が提供可能になると考える。

我々は、特定非営利活動促進法に基づく法人格を取得することにより大気イオン濃度を利用した現在の活動基盤をさらに充実させ、一般市民参加型の、産官学を超えた幅広い交流を行い、それらの交流による地震防災活動を具体化し、真に市民的な「予知・防災」を実現することを目的として本法人を設立する。

## 2 申請に至るまでの経過

平成 15 年 10 月 30 日 14 時より発起人会を開き、設立の趣旨、定款、入会金及び会費、平成 16 年度及び平成 17 年度の事業計画、収支予算、役員案を審議し決定した。

平成 15 年 10 月 30 日 15 時より設立総会を開き、発起人より設立の趣旨、定款、入会金及び会費、平成 16 年度及び平成 17 年度の事業計画、収支予算、役員案を提案し、審議の上決定した。

平成 15 年 10 月 30 日

特定非営利活動法人 大気イオン地震予測研究会 e-PISCO

設立代表者

住 所	兵庫県川西市緑台 5 丁目 1 番地 4 3
氏 名	弘原海 清 印